

大会宣言

3年余りにわたった新型コロナウイルス感染症により、子どもたちは制限のある生活や活動を強いられてきました。感染は収束しておらず、教職員や医療関係者などの緊張と業務負担は今も続いています。私たちの組合活動も制限のあるなかで、様々に工夫し運動をつなげ、今大会を迎えました。そして、多くの熱い議論を経て、本日新たな運動方針を決定しました。

子どもたちをとりまく状況は複雑・困難さを増しており、感染症の影響も指摘されています。子ども一人ひとりに寄り添った支援が必要であり、成立した「こども基本法」の趣旨を具現化する「こども大綱」の策定と実効性ある施策が求められます。また、依然として社会には多くの差別が存在し、人権が抑圧されています。私たち自身が差別の現実に深く学び「内なる差別」にむきあうことが必要です。多様性が尊重される社会、インクルーシブな社会の実現にむけ、子どもたちを主体とした教育実践を積み重ね、憲法・子どもの権利条約の理念の実現をめざすことを再確認しました。

ロシアによるウクライナ侵攻や東アジアの緊張を口実に、岸田政権は、敵基地攻撃能力保持、防衛力強化、原発回帰へと政策転換し、改憲についても強い意欲をみせています。G7広島サミットでは核抑止力の正当性を世界にアピールしました。これまでも増して国会軽視が著しく、粛々と「戦争のできる国」へ準備をすすめています。日教組は「教え子を再び戦場に送るな」の不滅のスローガンのもと、広範な市民と連携し、とりくみをさらに強めていかなければなりません。

教職員の長時間労働は改正給特法施行から3年経った現在も改善していません。教職員不足の状況も加わり、現場は疲弊しており、早急な改善・解消を望む切実な声が寄せられています。長時間労働は正には、業務削減・教職員定数改善、そして給特法廃止・抜本の見直しが必要です。日教組は全国連帯のもと、組合員一人ひとりの力を結集し教職員の長時間労働是正に全力でとりくんでいくことを確認しました。

感染症対応で活動が制限されつつも、単組・支部そして分会でのとりくみ、また専門部等とのつながりによって、新採用者や臨時・非常勤教職員等、再任用者など加入促進がはかられています。新たに仲間となった職場もあります。課題解決にむけた職場の様々なとりくみをおして、多くの仲間とつながり、新たな仲間の輪を広げ、組織拡大・強化をすすめていきましょう。

本日決定した運動方針のもと、組合活動の原点である職場から運動をすすめ、日教組運動の発展と継承をはかり、子どものゆたかな学びを保障すること、教職員のいのちと健康を守ること、そして平和・人権・環境・共生を尊重する民主的な社会の実現にむけ全国連帯で運動をすすめていきます。

以上、宣言します。

2023年7月16日
日本教職員組合 第112回定期大会